



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 2924 URL https://www.ifuji.co.jp/  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井 宗徳  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 原 敬（TEL）092-938-4561  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	16,036	44.6	1,480	△2.8	1,499	△2.3	1,036	0.1
2025年3月期中間期	11,087	△15.9	1,523	24.9	1,534	22.9	1,035	0.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,044百万円（0.8%） 2025年3月期中間期 1,036百万円（△1.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	127.35	—
2025年3月期中間期	125.21	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	17,975	11,906	66.2
2025年3月期	16,749	11,161	66.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 11,906百万円 2025年3月期 11,161百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	26.00	—	40.00	66.00
2026年3月期	—	32.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	35.00	67.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,661	20.0	2,689	△10.3	2,679	△12.1	1,827	△13.1	224.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）業績予想については、本日（2025年11月13日）公表しました「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	8,345,370株	2025年3月期	8,345,370株
2026年3月期中間期	195,648株	2025年3月期	209,251株
2026年3月期中間期	8,141,355株	2025年3月期中間期	8,269,748株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業が賃上げに努めてはいるものの、賃金の上昇を上回る物価の上昇や、税金・社会保険料の増加等による可処分所得いわゆる手取りの減少、また人口減少とそれに伴う労働力不足等により、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましては、運送費をはじめとした様々な経費や人件費の高騰の影響等により原材料価格や商品価格の値上げが続いております。

当社グループといたしましては、持続的成長と競争力向上のために、中期的な成長戦略として、液卵事業において、2030年度の液卵の販売数量8万トン、業界でのシェア20%を目標に、製品の供給能力の増大のための積極的な設備投資を進めております。さらに、人的資本経営の強化のために、次世代を担う人材の採用の促進、高い職務能力を持った多様な人材の育成、継続的なベースアップや健康経営優良法人の取得を始めとした従業員エンゲージメントの向上等を行っております。

このような状況の中、当社グループの当中間連結会計期間の連結売上高につきましては、前年同期比44.6%増の16,036百万円となりました。

損益につきましては、連結営業利益は同2.8%減の1,480百万円、連結経常利益は同2.3%減の1,499百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、同0.1%増の1,036百万円となり過去最高となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①液卵事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、イフジ産業株式会社であります。

鶏卵業界では、2024年10月から2025年2月における鳥インフルエンザの多発の影響による供給減に加え、外食各社の卵を主役に据えた月見メニューによる季節限定プロモーション等による需要増により、引き続き鶏卵の不足状況が続いており鶏卵相場が高値で推移しております。

当セグメントの主要な商品は「食の半導体」である液卵であり、商品及び原料の数量全体の約8割について販売単価及び仕入単価が鶏卵相場に連動しております。そのため、販売単価と仕入単価の差益を一定額以上確保し、販売数量の確保に努めることで、利益の最大化を図っております。

事業規模を示す指標である液卵の販売数量につきましては、前年同期比5.7%増となり中間連結会計期間としては過去最高となりました。これは主に、東日本を中心に鶏卵が不足したことにより他の液卵メーカーが液卵の供給を制限する事例が一部見られ、当社への注文が増加し、主に製菓向け、外食向け、総菜向けの液卵販売数量が増加したこと等によるものであります。

当セグメントの売上高につきましては、前述のとおり液卵販売数量が過去最高になったこと、鶏卵相場が高値で推移したことに伴い鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も高値で推移したこと、また、鶏卵不足から原料調達コストが大幅に上昇しているために販売単価の改定を行ったこと等により、液卵売上高は前年同期比47.6%増の14,162百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵の販売増等により同36.5%増の720百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同2.8%減の152百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同46.3%増の15,035百万円となりました。

セグメント利益につきましては、2030年度の液卵の販売数量8万トン、業界でのシェア20%を目標に、製品の供給能力の増大のための積極的な設備投資を進めていることから、減価償却費が81百万円増加したこと等により、前年同期比4.1%減の1,447百万円となりました。

#### ②調味料事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、日本化工食品株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、既存得意先への販売が減少したこと等により、前年同期比8.0%減の595百万円となりました。

セグメント利益につきましては、売上高の減少及び顆粒ライン増設工事に伴う修繕費の増加等により同33.0%減の30百万円となりました。

#### ③オーガニックEC事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、HORIZON FARMS株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、冷凍フルーツの販売が好調に推移したこと等により、売上高は436百万円となりました。

セグメント利益につきましては、のれんの償却額31百万円の計上、新たに倉庫を賃借したことによる賃借料の増加、SNSの活用強化に伴う広告宣伝費の増加等により3百万円となりました。

なお、前期につきましては、2024年7月から連結を開始し3か月間累計の数値となっているため、第2四半期連結累計期間における前年同期比較は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は17,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,226百万円増加しました。

流動資産は10,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ598百万円増加しました。主な要因は、商品及び製品の増加443百万円、原材料及び貯蔵品の増加442百万円、現金及び預金の減少386百万円等によるものであります。

固定資産は7,410百万円となり、前連結会計年度末に比べ628百万円増加しました。主な要因は、建物及び構築物の増加231百万円、機械装置及び運搬具の増加424百万円等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は6,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ481百万円増加しました。

流動負債は4,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加244百万円、短期借入金金の増加483百万円、未払法人税等の減少148百万円、未払消費税等の減少240百万円等によるものであります。

固定負債は1,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円増加しました。主な要因は、長期借入金金の増加173百万円等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は11,906百万円となり、前連結会計年度末に比べ745百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益1,036百万円の計上等により利益剰余金が711百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における「現金及び現金同等物の中間期末残高」は、前年同期に比べ456百万円減少し3,621百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ1,611百万円減少し177百万円となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益の計上1,499百万円や減価償却費の計上309百万円等により資金が増加し、棚卸資産の増加918百万円や法人税等の支払い570百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ105百万円増加し893百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出882百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により得られた資金は、前年同期に比べ379百万円増加し322百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額412百万円や長期借入金の借入による収入500百万円により資金が増加し、配当金の支払い額325百万円や長期借入金の返済による支出255百万円により資金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績の状況及び今後の見通し等を勘案し、2025年5月7日に公表いたしました2026年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2025年11月13日)公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,055	3,668
受取手形及び売掛金	3,911	3,832
商品及び製品	1,288	1,731
仕掛品	115	148
原材料及び貯蔵品	542	984
その他	66	213
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	9,967	10,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,968	2,200
機械装置及び運搬具(純額)	1,612	2,037
土地	1,857	1,857
リース資産(純額)	3	3
建設仮勘定	552	544
その他(純額)	44	61
有形固定資産合計	6,039	6,704
無形固定資産		
のれん	456	424
その他	9	13
無形固定資産合計	466	438
投資その他の資産		
投資有価証券	175	190
繰延税金資産	87	64
その他	14	13
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	276	267
固定資産合計	6,782	7,410
資産合計	16,749	17,975
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191	1,436
短期借入金	1,160	1,643
1年内償還予定の社債	16	16
リース債務	1	1
未払法人税等	626	477
賞与引当金	195	111
その他	1,358	1,176
流動負債合計	4,549	4,863
固定負債		
社債	40	32
長期借入金	911	1,084
リース債務	2	1
その他	84	87
固定負債合計	1,038	1,205
負債合計	5,588	6,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	414	422
利益剰余金	10,523	11,234
自己株式	△297	△278
株主資本合計	11,096	11,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	72
その他の包括利益累計額合計	64	72
純資産合計	11,161	11,906
負債純資産合計	16,749	17,975

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,087	16,036
売上原価	8,119	13,011
売上総利益	2,968	3,024
販売費及び一般管理費	1,444	1,544
営業利益	1,523	1,480
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	3	3
受取保険金	0	4
受取賃貸料	9	9
その他	5	9
営業外収益合計	18	30
営業外費用		
支払利息	8	12
営業外費用合計	8	12
経常利益	1,534	1,499
特別損失		
固定資産除売却損	19	—
特別損失合計	19	—
税金等調整前中間純利益	1,514	1,499
法人税、住民税及び事業税	395	443
法人税等調整額	83	18
法人税等合計	479	462
中間純利益	1,035	1,036
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	1,035	1,036

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,035	1,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	7
その他の包括利益合計	0	7
中間包括利益	1,036	1,044
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,036	1,044
非支配株主に係る中間包括利益	—	—



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,514	1,499
減価償却費	224	309
のれん償却額	15	31
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△98	△84
受取利息及び受取配当金	△3	△7
受取保険金	△0	△4
支払利息	8	12
固定資産除売却損益(△は益)	19	—
売上債権の増減額(△は増加)	300	79
棚卸資産の増減額(△は増加)	148	△918
仕入債務の増減額(△は減少)	△150	244
未払消費税等の増減額(△は減少)	122	△235
長期未払金の増減額(△は減少)	△1	△0
その他	△132	△177
小計	1,967	748
利息及び配当金の受取額	3	7
利息の支払額	△8	△12
保険金の受取額	0	4
法人税等の支払額	△172	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,789	177
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22	△10
定期預金の払戻による収入	4	4
有形固定資産の取得による支出	△341	△882
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
無形固定資産の取得による支出	△2	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△425	—
その他	3	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787	△893
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△524	412
長期借入れによる収入	900	500
長期借入金の返済による支出	△242	△255
社債の償還による支出	△8	△8
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△181	△325
リース債務の返済による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57	322
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	944	△392
現金及び現金同等物の期首残高	3,133	4,014
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,077	3,621

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,273	612	201	11,087	—	11,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	35	—	39	△39	—
計	10,277	647	201	11,126	△39	11,087
セグメント利益	1,508	45	10	1,565	△41	1,523

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の調整額△41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、子会社株式の取得関連費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年7月31日付でHORIZON FARMS株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、「オーガニックEC事業」セグメントにおいて、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は、503百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,035	564	436	16,036	—	16,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	31	—	31	△31	—
計	15,035	595	436	16,067	△31	16,036
セグメント利益	1,447	30	3	1,480	—	1,480

(注) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	7,531	—	—	7,531
凍結卵	2,061	—	—	2,061
卵加工品	527	—	—	527
その他鶏卵関連	138	—	—	138
調味料	—	611	—	611
オーガニック商品	—	—	201	201
その他	13	0	—	13
顧客との契約から生じる収益	10,273	612	201	11,087
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,273	612	201	11,087

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	11,983	—	—	11,983
凍結卵	2,179	—	—	2,179
卵加工品	720	—	—	720
その他鶏卵関連	138	—	—	138
調味料	—	563	—	563
オーガニック商品	—	—	436	436
その他	13	0	—	14
顧客との契約から生じる収益	15,035	564	436	16,036
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,035	564	436	16,036